

2025 年 9 月 16 日

各 位

株式会社北洋銀行

お客さま 21 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」 【目標選択型】の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、お客さまのサステナブル経営を支援しています。

今般、2025 年 8 月に、下記の通り、お客さま 21 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました。本ファイナンスは、持続可能な経営の実践に向け、北海道の SDGs 推進ビジョン等に整合した目標設定と、社会価値創出のストーリー発信をサポートするご融資です。

近年、社会的にサステナビリティへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がサステナブルな事業活動を推進しています。

当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

記

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	アイハウジングサポート株式会社
代 表 者	代表取締役 坂本 周平
所 在 地	北海道江別市野幌町50番地5

会 社 名	株式会社 ACE フーズ
代 表 者	代表取締役 樋口 翔平
所 在 地	北海道札幌市中央区南8条西6丁目7-24 アン・セリジェ壱番館11階1113号室

会 社 名	株式会社キープグロース
代 表 者	代表取締役 高橋 佳吾
所 在 地	北海道札幌市東区東雁来14条2丁目7-1

会 社 名	株式会社北駒
代 表 者	代表取締役 山口 敏男
所 在 地	北海道茅部郡森町常盤町129番地

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 9 月 16 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社キュア
代 表 者	代表取締役 長南 満
所 在 地	北海道札幌市中央区南1条東3丁目10-13 アイパスビル3階

会 社 名	合同会社CLASSic
代 表 者	代表社員 小林 誉英
所 在 地	北海道札幌市清田区里塚3条3丁目22-1-2

会 社 名	株式会社 Craft Tec
代 表 者	代表取締役 高橋 良佑
所 在 地	北海道札幌市白石区栄通20丁目6-2-1

会 社 名	株式会社坂下商店
代 表 者	代表取締役 坂下 正樹
所 在 地	北海道茅部郡鹿部町鹿部92-3

会 社 名	株式会社櫻装建
代 表 者	代表取締役 佐々木 慎司
所 在 地	北海道登別市新生町2丁目23番地10

会 社 名	サンバフリー有限会社
代 表 者	代表取締役 水谷 禎志
所 在 地	北海道札幌市北区新琴似8条12丁目8-12

会 社 名	株式会社ジャスト・カーゴ
代 表 者	代表取締役 清野 敏彦
所 在 地	北海道石狩市新港中央2丁目757番地13

会 社 名	正和住設株式会社
代 表 者	代表取締役 新 力
所 在 地	北海道石狩市花川南6条4丁目244番地

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 9 月 16 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社ゼスト
代 表 者	代表取締役 銭谷 和久
所 在 地	北海道札幌市中央区大通西20丁目1-1

会 社 名	株式会社ツーユーコーポレーション
代 表 者	代表取締役 高橋 正樹
所 在 地	北海道札幌市北区新川西1条3丁目8番15号

会 社 名	TI設備株式会社
代 表 者	代表取締役 越膳 樹
所 在 地	北海道札幌市北区新川3条14丁目12-10-102

会 社 名	株式会社 North Ocean Way
代 表 者	代表取締役 山口 徹平
所 在 地	北海道札幌市豊平区豊平2条2丁目2番8-706

会 社 名	有限会社ブルーマリン
代 表 者	代表取締役 西川 竜哉
所 在 地	北海道網走郡美幌町三橋町2丁目10番地の6

会 社 名	株式会社プロスペクト
代 表 者	代表取締役 二階堂 大作
所 在 地	北海道北見市中央三輪5丁目423番地5 ショッピングセンターメッセA棟2F

会 社 名	株式会社北裕コーポレーション
代 表 者	代表取締役 岡 典行
所 在 地	北海道札幌市手稲区曙2条4丁目1番70号

会 社 名	株式会社まるみ
代 表 者	代表取締役 久保田 健
所 在 地	北海道札幌市手稲区明日風1丁目1-9

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 9 月 16 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	合同会社ヨネコウ
代 表 者	代表社員 米澤 幸二
所 在 地	北海道札幌市清田区美しが丘3条5丁目8番4－701号

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

北章宅建グループ サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 8 月 22 日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

北章宅建グループ(以下、「当グループ」)は、北海道石狩市に本社を置く北章宅建株式会社を事業中核会社として、主に道央を事業エリアに「イエステーション」のフランチャイズ(FC)店舗を展開し、不動産の売買、仲介、買取再販などの事業を行っている。当グループ各社の概要および資本関係は次の通り。

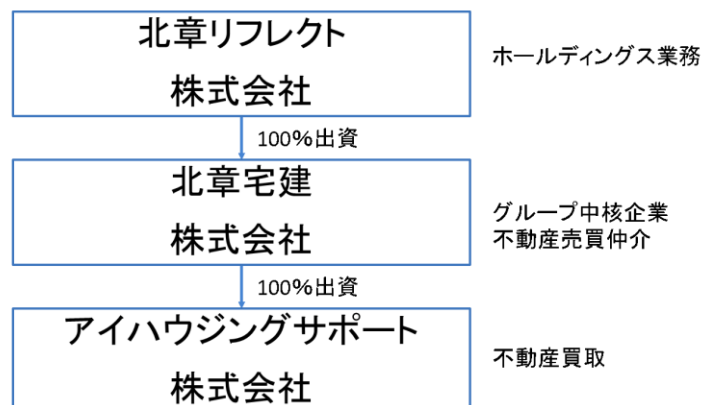
【当グループ各社の概要】

名 称	北章宅建株式会社(グループ中核企業)		
本社所在地	北海道石狩市花川南 1 条 4 丁目 250 番地 オカムラビル 1 階		
代 表 者	代表取締役 坂本 周平	設立年月	2010 年 4 月創業
資 本 金	10 百万円	売上高	511 百万円(2024 年 12 月期)
主たる事業	不動産仲介業・不動産管理業	従業員	53 名(2024 年 12 月現在)

名 称	北章リフレクト株式会社		
本社所在地	札幌市中央区南 3 条西 9 丁目 998 番地 3		
代 表 者	代表取締役 坂本 周平	設立年月	2021 年 11 月
資 本 金	10 百万円	売上高	4 百万円(2024 年 12 月期)
主たる事業	不動産賃貸業、事務サービス業	従業員	1 名(2024 年 12 月現在)

名 称	アイハウジングサポート株式会社		
本社所在地	江別市野幌町 50 番地 5		
代 表 者	代表取締役 坂本 周平	設立年月	2012 年 9 月
資 本 金	30 百万円	売上高	979 百万円(2024 年 12 月期)
主たる事業	不動産売買業、不動産賃貸業	従業員	13 名(2024 年 12 月現在)

【当グループの資本関係】



【グループの事業概要等】

事業内容	① 不動産売買業、売買仲介及び販売代理業 ② 不動産賃貸業、賃貸仲介及び賃貸管理業 ③ 一般建築工事の設計、施工及び管理 ④ 建築、建物設備のリフォーム工事の設計、施工及びコンサルタント業務 ⑤ 各種損害保険及び少額短期保険代理店業務 ⑥ リサイクル業、家具、不用品の引き取り及び買取、販売	
事業拠点	本社 石狩市花川南1条4丁目250番地 石狩店 同上 小樽店 小樽市花園2丁目6番7号プラムビル3F 江別店 江別市野幌町50番地5 岩見沢店 岩見沢市5条東8丁目1番33号 後志店 余市郡余市町大川町4丁目64番1 滝川店 滝川市栄町4丁目4番29号 小樽駅前店 小樽市稲穂3丁目8番7号 札幌手稲店 札幌市手稲区前田5条12丁目13-30ノルテビル2階 札幌北店 札幌市北区北32条西5丁目3-27レガート北321F 美唄店 美唄市大通西1条北2丁目1-28 札幌東店 札幌市東区北22条東15丁目4-22おおぎビル1F 栗山店 夕張郡栗山町中央2丁目80番1-1 岩内店 岩内郡岩内町字大浜9-1 八雲店 二海郡八雲町東雲町17番34 むかわ店 勇払郡むかわ町花園2丁目82番地 新ひだか店 日高郡新ひだか町静内御幸町3丁目1番78号 土地販売部 イエステーション美唄店内 特販部 本社内 土木・片付サービス事業 江別店内	
沿革	2010年4月 石狩市花川にて不動産仲介業を目的に創業 2011年9月 不動産買取再販業を開始 2012年10月 買取再販業務を目的に子会社分社設立(アイハウジングサポート株式会社) 2013年10月 遺品整理事業、荷物片付事業部設立 2014年6月 不動産賃貸事業開始(商圈内貸家運営) 2015年11月 アイハウジングサポート株式会社にて産業廃棄物収集運搬業免許取得 2018年7月 北海道グリーン・ビズ認定制度「優良な取組」部門登録 2020年8月 朝里ダム、美唄ダムのネーミングライツ(命名権)取得 2022年3月 SDGs 宣言を行う 2022年11月 全国同業者への定期コンサル事業を開始 2023年8月 サステナビリティ経営方針を策定	

2. 理念体系

【北章宅建グループの理念体系】

ビジョン
住まいを通じて、本当の生活の豊かさを創造する。
経営理念
安心と喜びを信用信頼を元に良いサービスで提供する。
事業理念
皆様の街の専門家。高品質な不動産及び関連サービスをこの街で。
人事理念
長所進展、適材適所を年功+実力主義で実現する。
教育理念
人の喜びをわが喜びと頑張る人材育成。
経営目標
不動産流通業の近代化の一助となる。 あまねく地域に、高品質な不動産及び関連サービスを提供する。
当社において目指すべき重要な言葉
安心感 信頼感 信用の蓄積

北章宅建グループは、ビジョンに「住まいを通じて、本当の豊かさを創造する」、事業理念に「皆様の街の専門家」を掲げている。

「皆様の街の専門家」とは、正確な知識・情報に基づく高品質な不動産サービスを提供し、地域やお客様に安心感を与え信頼される存在である。

当グループは、人口減少地域における不動産サービスが、地域の活性化とグループ業容拡大の活路になるとの信念のもと、「皆様の街の専門家」となる人材の育成と拠点の開設を進め、現在では地方圏を中心に16店舗を展開している。

また、経営目標は「不動産流通業の近代化の一助となる。あまねく地域に、高品質な不動産及び関連サービスを提供する。」としている。創業者である坂本周平氏は、不動産取引はステークホルダーが多いこともあり煩雑な事務作業が発生することや、紙媒体の利用が多いこと、ノウハウも属人的になりがちであるという業界的な商習慣に課題を感じ、これを解消することで不動産サービスはより改善されると考えている。北章宅建グループは、顧客との直接的な接点を必要としない業務は徹底的に仕組化・効率化し、顧客との面談時間や付加価値を創出することで、高品質な不動産サービスの提供を目指している。「サービス品質を向上させる」というポリシーのもと、極力他社システムではなく自社でシステム開発を進め、自社と顧客にとって望ましい業務フローを構築するDXの取り組みは、まさに経営目標を体現する活動である。

このように、お客様のニーズにきめ細やかに応え、住まい(＝不動産)を通じて本当の生活の豊かさを創造することが、地域貢献とグループの発展につながるとし、理念体系を定めた。

3. 事業概要

北章宅建グループは、不動産売買を事業の中心とした企業グループである。当グループは人口減少地域に店舗網を展開し、既存不動産ストックの活性化を図ることで地域の経済成長に貢献している。当グループの強みは、地域密着型の事業活動により蓄積された情報量と営業力にある。各地域の商圈を明確に定め、商圈毎の不動産情報の集約と中長期的に顧客接点を維持する営業活動により、他社に先駆けて優先的な交渉の実現を可能としている。他社が避ける傾向にある少額な取引にも積極的に対応することで、年間の取引件数は約 700 件、販売中の不動産物件数は、空知管内シェア約 40%、同後志管内シェア約 40%と高いシェアを維持している。

北章宅建グループは、適切かつ高品質な不動産サービスの提供により、顧客満足の最大化と顧客が住む地域および当グループの発展を目指し、「住まいを通じて、本当の生活の豊かさを創造する」というビジョンを掲げている。このビジョンの実現に向けて、2022 年 3 月に SDGs 宣言を行い、2023 年 8 月にはその取り組みをさらに発展させるべくサステナビリティ経営方針を策定している。サステナビリティ経営方針においては、重要課題に「住まいを通じた豊かさの創造」「高品質な不動産サービスの実現」「環境経営の実施」「ダイバーシティ推進と働きやすい職場づくり」の 4 つを特定し、それぞれの目標・KPIを定めている。2024 年 9 月には当行にて「ポジティブインパクトファイナンス評価書」を発行し、株式会社格付投資情報センター様から第三者評価として「セカンドオピニオン」を取得した。同評価書ではコア・インパクトを「住まいを通じた豊かさの創造」と特定し、地方圏の不動産取引の担い手となり続けることで、地方圏における経済面の活性化を図ることや、空き家問題の解決につながる取り組みを行うことなど、環境・社会・経済へ好影響を与えている点などを評価している。



【出所：北章宅建グループ提供資料】

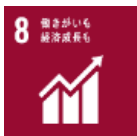
4. サステナビリティ目標

北章宅建グループの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、北章宅建グループの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、北章宅建グループのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本の推進
目 標 ・ K P I	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

アイハウジングサポート株式会社

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題（マテリアリティ）

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

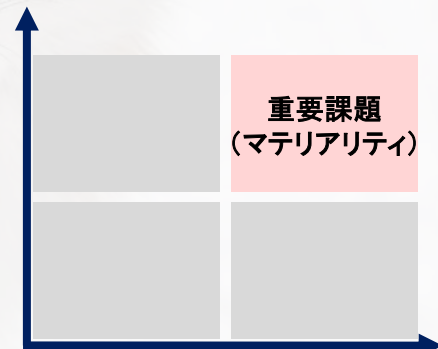


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社ACEフーズ

Sustainability Commitment

2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

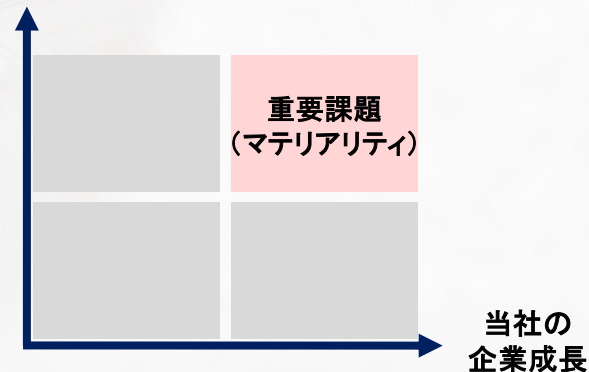


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社キープグロース

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

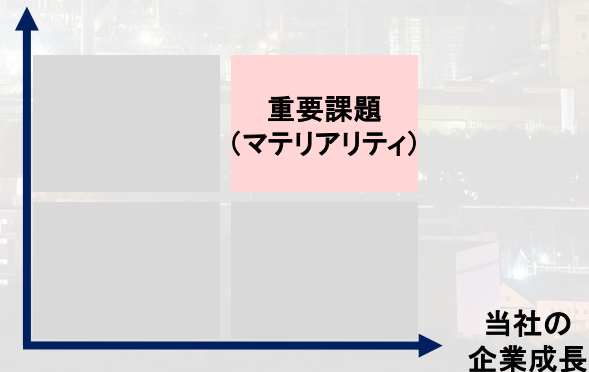


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社北駒

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

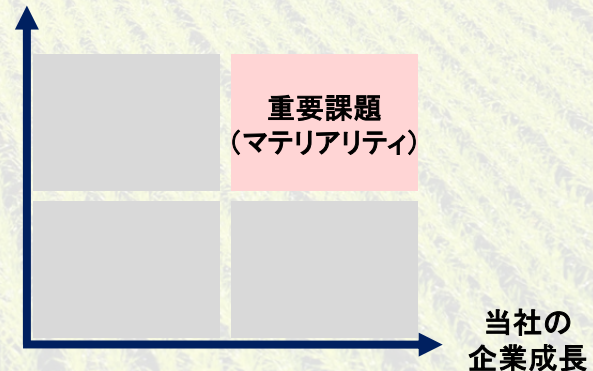


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社キュア

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

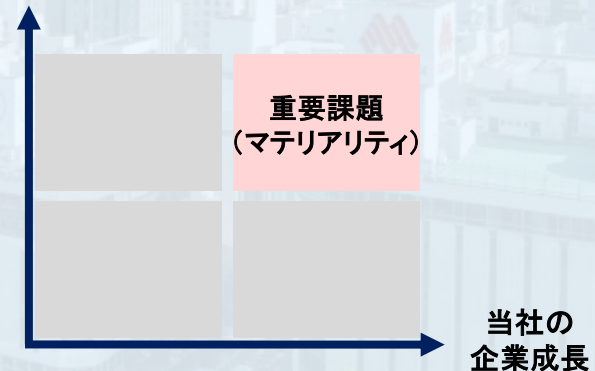


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



合同会社 CLASSic サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 8 月 5 日

株式会社北洋銀行
清田区役所前支店

1. 基本情報

企 業 名	合同会社 CLASSic	
代 表 者 名	代表社員 小林 誉英	
所 在 地	- 本社 札幌市清田区里塚 3 条 3 丁目 22 番 1-2 号 - 清田事業所 札幌市清田区真栄 1 条 2 丁目 4 番 1 号 - 発寒事業所 札幌市西区発寒 7 条 5 丁目 11 番 21 号	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	11 名 (2025 年 3 月現在)	
業 種	福祉事業	
事 業 内 容	- 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 - 教育機関への研修、講演会の企画、運営 - 福祉サービスの運営コンサルティング	
沿 革	2019 年 5 月 2019 年 12 月 2022 年 9 月	当社設立 放課後デイサービスみかづき開設 放課後デイサービスみかづき発寒開設

2. 経営理念

経営理念

笑顔の連鎖を生み出す

合同会社 CLASSic(以下、「CLASSic」)はこの経営理念に基づき、「子どもから高齢者まで自分らしく笑顔で生きることができる地域、社会を支える」ことを企業の存在意義(ミッション)とし、そのために「安定して顧客を支えられる経営基盤の確立する」ことを目指す姿(ビジョン)として活動している。

すべての人が自分らしく生きることができる社会を目指し、「CLASSic(暮らす+らしく)」と名付けられた。放課後等デイサービスの「みかづき」は、「まんげつじゃなくても、いつも同じカタチや輝き方じゃなくても、だいじょうぶ どんなみかづきも美しく輝いているように どのみかづきにもその良さがあるように それぞれの子どもが、その個性を光らせることができる、手助けの場所を目指して」というコンセプトのもと運営している。

3. 事業概要

CLASSic は札幌市清田区に本社を置き、札幌市清田区と札幌市西区の 2 か所で放課後等デイサービスを営む福祉事業者である。放課後等デイサービスでは生活スキル、社会性、身体能力を高めるほか、パソコン（プログラミング含む）の使用や、IT リテラシー獲得へのアプローチにより、多面的に成功体験を積めるような療育を行っている。また、個々の適切なアセスメントによる個別支援計画と障がい者の自立に向けた計画作成を強みとする。

オンラインスキルの向上には特に力を入れている。児童 1 名に対し、1 台のパソコンを準備。リサーチ力向上やネットリテラシーの育成、オンラインコミュニケーションによる画面の先の相手への思いやりや伝え方といった現代社会に必要なスキル習得ができる環境を整備している。



出所: CLASSic 提供資料

CLASSic は経営理念として掲げる「笑顔の連鎖を生み出す」起点となる従業員に対し、「自己実現と経済力の確立」と「挑戦と変化を楽しむ組織」を行動指針としている。この行動指針を実現するため、「地域の中でともに挑戦し、失敗し、成長できる大人であり続ける」「自己研鑽を怠らず、常に知識や技術の更新をする」「変化を楽しみ、成長に繋げるマインドの醸成を目指す」「自己の幸せも追求し、笑顔で過ごす時間をより多く持つ」を従業員のミッションとして設定。資格取得支援や外部研修参加費用支援を通じ、人的資本経営の推進に取り組んでいる。

また、従業員のエンゲージメント向上のため、当社オリジナルのバランススコアカードを用いて評価基準を可視化。加えて事業所ごと、従業員ごとに KPI を設定。この KPI に基づいた定期的なフィードバックと客観性のある人事評価に加え、従業員も事業所同様に個性を生かし、足りないところは補い合うことでチームワークが生まれ、当社で働くことの喜び、誇りがエンゲージメントの向上につながっている。



出所: CLASSic 提供資料

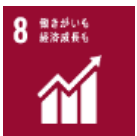
4. サステナビリティ目標

CLASSic の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、CLASSic の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、CLASSic のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	① 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	① 正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

合同会社CLASSic

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

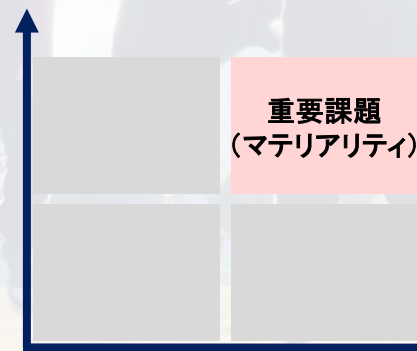
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社Craft Tec

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

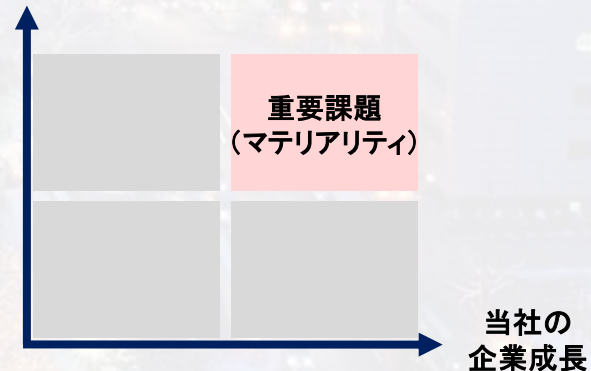
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社坂下商店 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 8 月 4 日

株式会社北洋銀行
森支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社坂下商店	
代 表 者 名	坂下 正樹	
所 在 地	- 本社 北海道茅部郡鹿部町字鹿部 92 番地 3 - 工場 北海道茅部郡鹿部町字本別 300 番地 9	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	6 名 (2025 年 6 月現在)	
業 種	水産品加工・卸売業	
事 業 内 容	- 鮮魚卸売(マグロ、カレイ、ホッケ) - 水産加工(ボイルホタテ、ホタテ生貝柱、ツブ、タコ、ホヤ、カキ)	
沿 革	2011 年 2021 年 2022 年 2024 年 2025 年	漁師として事業開始(スケソウ漁やカレイ漁に従事) 個人創業。ホタテ貝仲買人として事業開始 鹿部地方卸売市場買受人登録 水産製品製造業許可 株式会社坂下商店 設立(資本金3百万円) 坂下正樹氏が代表取締役役に就任 北海道グリーンビズ「優良な取組部門」登録 「ゼロカーボン・チャレンジャー」登録

2. 経営理念

経営理念

- 一、海の恵みに感謝し、安心・安全、そして新鮮さにこだわった商品づくりを大切にします。
一、お客様の笑顔と信頼を励みに、まごころを込めて最高品質の鮮魚・加工品を提供します。

上記の経営理念は、坂下商店の事業の根幹にある価値観を表している。

「海の恵みに感謝する」という姿勢は、自然資源の恵み支えられていることを常に意識した基本姿勢である。

また、「まごころを込めて最高品質の鮮魚・加工品を提供する」ことは、丁寧な仕事と品質への妥協のない姿勢を意味している。当社は、お客様に信頼され、満足していただくには、丁寧な商品づくりと最高品質の鮮魚・加工品の商品を提供が重要であると考えている。

当社は今後も、誠実な商品づくりと環境への配慮を大切に、地域社会と共に発展していく。

3. 事業概要

坂下商店は鹿部町に拠点を構える鮮魚仲介業および水産加工業を営む企業である。

創業者である坂下正樹氏は漁師としてスケソウダラ漁やカレイ漁に従事した経験を持つ。現在は仲買人として、森町・鹿部町を中心とした地元漁師や各地の卸売市場と直接つながり、ホタテや旬の鮮魚の目利き・仕入れを行っている。鹿部町内には自社の加工場を構え、地元食材を使用した水産加工業も展開しており、徹底した衛生管理のもと安心・安全な製品づくりに努めている。当社の強みは、坂下氏自身が漁師として築いた地元漁業者との深い信頼関係と顔の見える取引。原料の鮮度にこだわり確かな目利きで仕入れるスタイルを貫いている。当社は北海道・鹿部の豊かな海の恵みを多くのお客様にお届けするために地域に根ざした持続可能で安定した原料調達と付加価値の高い水産加工事業を一体で展開しており今後も多様なお客様ニーズに対応していく。

■ 取扱鮮魚類・活商品



出所：坂下商店 提供資料

坂下商店は、事業活動における環境負荷の抑制を推進している。具体的には真空包装機の導入により複数の袋を一度にパックすることで食材の酸化防止・腐敗防止・乾燥防止を行い食材の廃棄ロス軽減につなげているほか、発砲スチロール容器（プラスチック製品）の使用を削減し、大型段ボール容器へと梱包材の変更することで使い切りプラスチック製品の使用抑制、物流コストの削減につなげている。今後については、北海道知事が表明した 2050 年までにGHG排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」への取組みの一環として、省エネ型生産機械の導入を推進しゼロカーボン・チャレンジャーとして温室効果ガス排出削減に取り組んでいく。

■ 坂下商店の梱包システム



出所：坂下商店 提供資料

また、経営理念を実践する上で、社員同士の信頼関係や働きがいのある職場づくり、成長を支援する教育体制の構築は不可欠であり、役職員の労働環境に配慮した事業活動を行っている。有給休暇の取得促進や働き方改革の実践は社員のエンゲージメントを高め、経営理念を持続的に実現していくために欠かせない取り組みであり、今後もワークライフバランスの充実を推進し社員のモチベーション向上とスキルアップをサポートしていく。

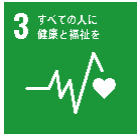
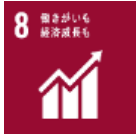
4. サステナビリティ目標

坂下商店の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社坂下商店の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、坂下商店のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給休暇取得率を 70% 以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社坂下商店

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

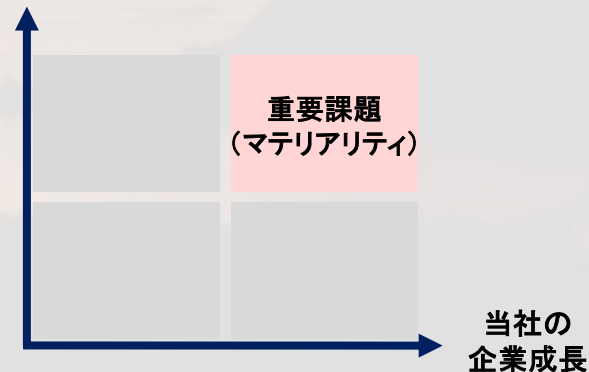


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社櫻装建 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 8 月 29 日

株式会社北洋銀行
登別支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社 櫻装建	
代 表 者 名	佐々木 慎司	
所 在 地	- 本社 北海道登別市新生町 2 丁目 23 番地 10 - 崎守事業所 北海道室蘭市崎守岬町 385 番地	
資 本 金	100 万円	
従 業 員	7 名 (2025 年 5 月現在)、グループ全体 12 名 (2025 年 5 月現在)	
業 種	塗装業	
事 業 内 容	- 橋梁特殊塗装工事 - とび・土工工事	
沿 革	2012 年 3 月 2017 年 4 月 2019 年 10 月 2024 年 1 月 2024 年 3 月	株式会社櫻装建設立 代表取締役佐々木 慎司就任 本社を登別市若山町 4 丁目 44 番地 17 へ移転 有限会社櫻総業をグループ子会社化 本社を登別市新生町 2 丁目 23 番地 10 へ移転

2. 経営理念

経営理念

一、社会インフラ維持・発展への貢献

社会の基盤である橋梁の耐久性を高め、安全な社会生活の実現に貢献します。

一、社員の成長と well-being

従業員の一人ひとりの成長を支援し、働きがいのある職場環境を実現します。

株式会社櫻装建(以下、「櫻装建」または「当社」)は、創業以来経営の根幹を為す「社会インフラ維持・発展への貢献」という社是に基づきながら、未来志向を強く持ち、当社を取り巻くステークホルダーと共に社会に新たな価値を創造していくことを使命として定義している。

1 事業概要

櫻装建は登別市に本社を置き橋梁塗装工事を専門に、グループ企業の有限会社櫻総業は主にとび・土木工事を専門に行っている。

当社が手掛ける橋梁の特殊塗装は一般的な塗装とは異なり、橋梁の耐久性や機能性を高めるために行われる高度な技術を必要とする特殊な塗装である。橋梁は屋外に設置され風雨や紫外線、塩害など過酷な環境にさらされるため、長時間にわたって構造物を保護する必要がある、特殊な塗料や塗装方法が用いられる。会社設立以来、耐久性の高い塗装、特殊塗装によるメンテナンスコストの削減、腐食や劣化による事故を防ぎ安全な通行確保、塗料材料や工法を工夫することで環境への配慮にも努めている。

橋梁インフラは交通網を支える重要な社会基盤の一つであり、当社は交通の円滑化、経済活動の活性化、生活の利便性向上を高めるためにも特殊塗装は重要な役割を担っており、橋梁インフラの維持、増進にも貢献している。

当社は環境への配慮を重要課題として捉え、脱炭素社会実現に向けGHG排出量の可視化、排出量削減に向けたロードマップを作製し具体的な取組みを進めている。

■ 施工実績(一例)



出所: 櫻装建 提供資料

櫻装建は経営理念に掲げる「社員の成長と well-being」の通り、当社で働く人財を事業運営上の最も重要な財産と位置づけている。橋梁塗装は塗装技能士や土木施工管理技士が必要不可欠であり、従業員の能力や働きがいの向上に取組んでいる。

当社は人的資本経営の推進を重要課題として捉え、消費者物価指数を上回る賃金上昇への取組みを継続して実施していくとともに、国が進める資産所得倍増プランに基づき従業員の資産形成に対する取組みも雇用者の責務として具体的に進めている。国が推奨する「職場つみたてNISA」の制度を取入れ従業員に奨励金を支給する等、物価上昇率に負けない資産づくりを後押ししている。

■ 本社屋



出所: 櫻装建 提供資料

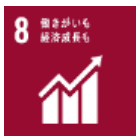
2 サステナビリティ目標

櫻装建の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、櫻装建の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、櫻装建のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(ア) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	① CO2排出量の可視化を実現する。
関連する SDGs	 

(イ) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	① 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社櫻装建

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

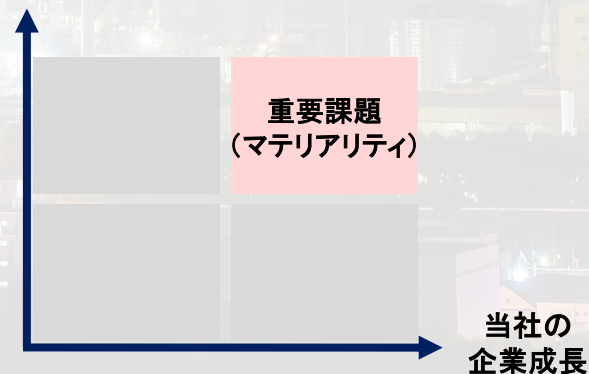
目標・KPIs

- | | | | |
|---|-------------|---|---------------------------|
| 1 | 脱炭素社会実現への貢献 |   | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 | 人的資本経営の推進 |   | 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 |

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



サンバフリー有限公司

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

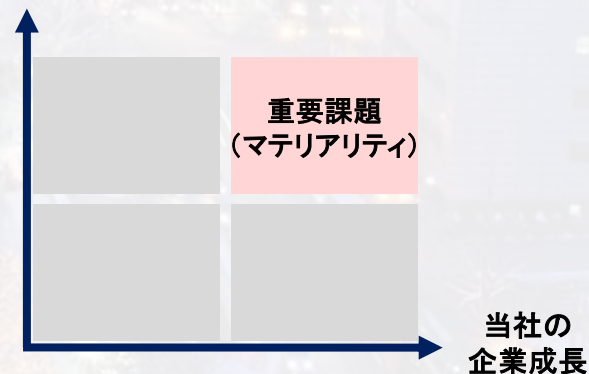
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社ジャスト・カーゴ

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献

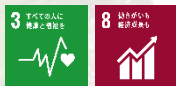


目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

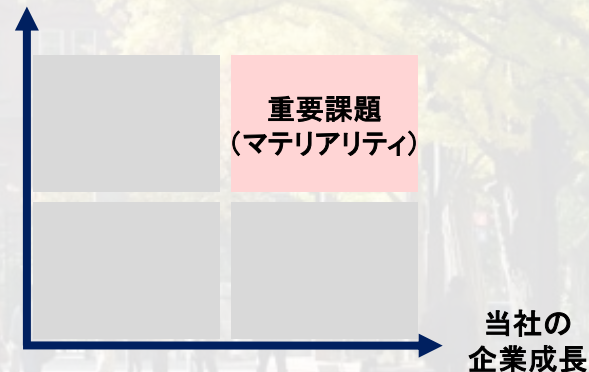


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題（マテリアリティ）

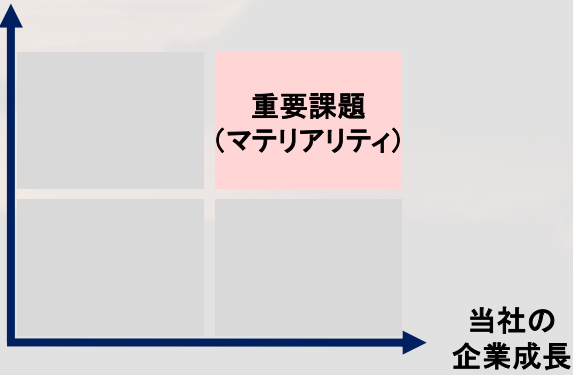
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	7 持続可能なエネルギー 13 気候変動に具体的な対策を	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社ゼスト

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

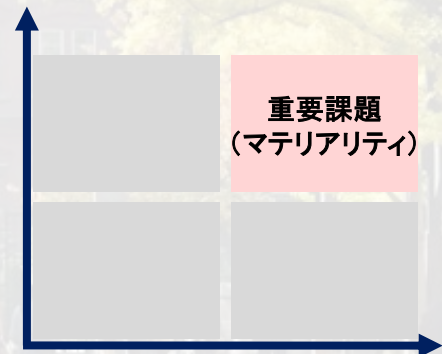


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社ツューコーポレーション

Sustainability Commitment

2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献

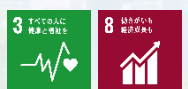


目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

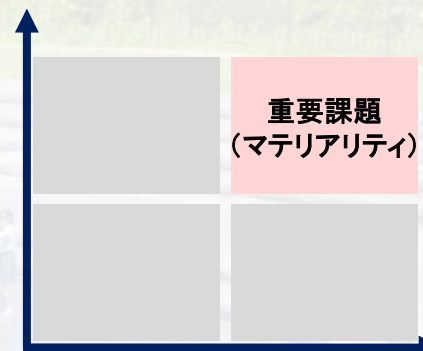


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

TI設備株式会社

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。

2

人的資本経営の推進



消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

3

ワークライフバランスの充実

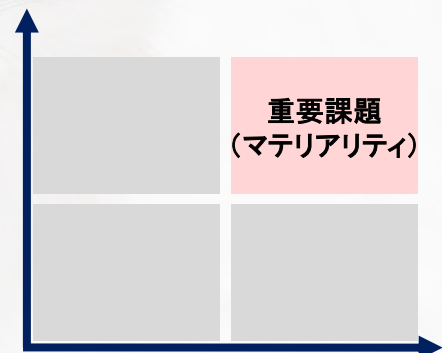


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社North Ocean Way

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

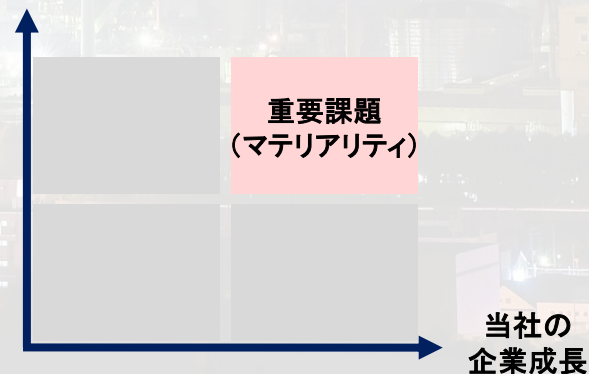
目標・KPIs

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------------------|
| 1 | 脱炭素社会実現への貢献 |   | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 | 人的資本経営の推進 |   | 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 |
| 3 | ワークライフバランスの充実 |   | 有給休暇取得率を70%以上にする。 |

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



有限会社ブルーマリン

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

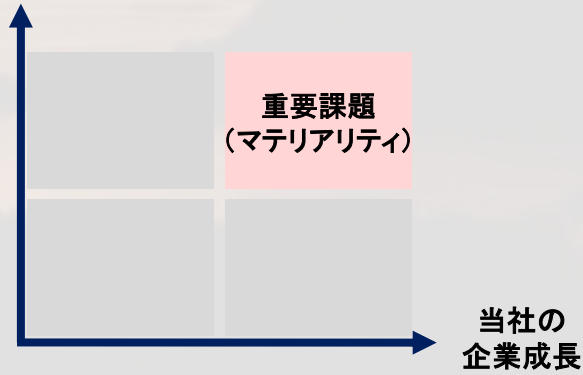
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社プロスペクト

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

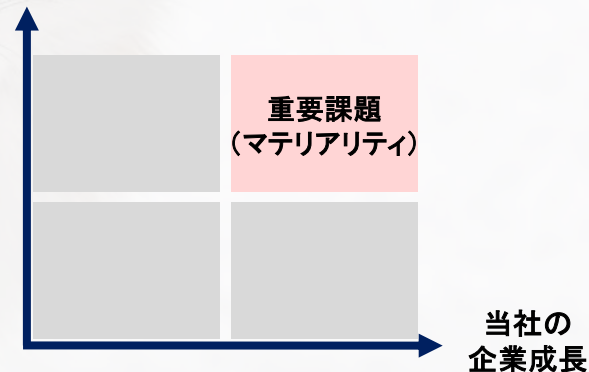


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社北裕コーポレーション

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題（マテリアリティ）

目標・KPIs

1

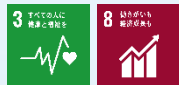
脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

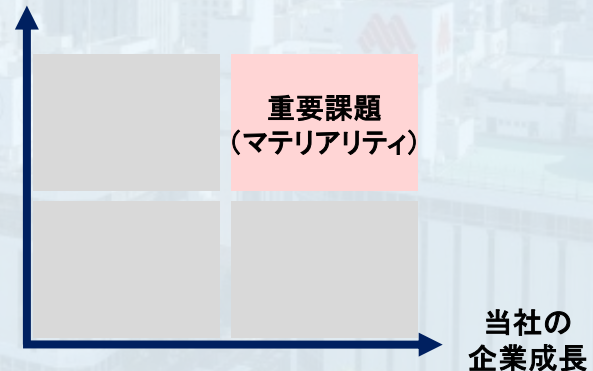


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社まるみ

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

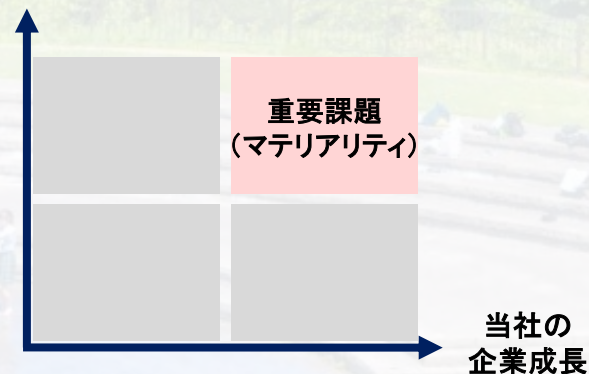


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



合同会社ヨネコウ サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 8 月 29 日

株式会社北洋銀行
北広島中央支店

1. 基本情報

企 業 名	合同会社ヨネコウ	
代 表 者 名	米澤 幸二	
所 在 地	本社	札幌市清田区美しが丘三条 5 丁目 8 番 4-701 号
	事務所	札幌市清田区美しが丘三条 5 丁目 8 番 10-408 号
	北事業所	札幌市北区新川 720 番 37
資 本 金	500 万円	
従 業 員	正規雇用 4 名 (2025 年 7 月現在)	
業 種	内装工事業	
事 業 内 容	・ 公営住宅およびマンション管理組合修繕工事 ・ 樹木、芝生の剪定伐採・管理 ・ 除雪業務(緊急対応のみ) ・ 環境美化事業(高圧洗浄エコロビーム工法)	
沿 革	2018 年	当社設立
	2025 年	資本金を 500 万円へ増資 環境美化事業開始(高圧洗浄エコロビーム工法)

2. 経営理念

経営理念

北海道の人々へ
『快適な暮らしと地域の環境美化を守る』を提供するために

合同会社ヨネコウは、当社の事業活動そのものが地域のサステナビリティの実現に貢献するよう、北海道に暮らす人々に快適な暮らしとより良い環境を提供することを経営理念としている。当社が提供する価値は、修理やリフォームといった修繕工事にとどまらず、外壁の黒ずみや壁の落書き清掃、樹木や芝生の管理、予期せぬ積雪時の除排雪業務も行っており、日常の管理から緊急時のサポートまで柔軟に対応し、暮らしを守り続けている。

3. 事業概要

合同会社ヨネコウは公営住宅やマンション管理組合からの修繕工事をはじめ、関連する樹木・芝生の剪定伐採・管理を行っている。また、顧客ニーズを出発点にエコロビーム工法を駆使した環境美化事業を開始している。エコロビーム工法は高温水と重曹を混ぜた液体を噴射し、塗膜やサビ、油膜の汚れを研磨除去するクリーニング工法である。重曹を使用することで 100%安全で環境負荷が低いほか、新モース硬度が 2.5 ととても柔らかく、母材の表面を傷つけることなく多孔質材の奥まで入り込んだ汚れも除去でき、墓石のコケやカビ、温泉施設の黄ばみや石灰汚れ、外壁の黒ずみ、壁の落書きや張り紙等、様々な汚れに対応可能となっている。施工後は匂いや汚染等、環境や人体への悪影響は一切なく時代とマッチした洗浄方法であることから需要拡大が期待される。

■ エコロビーム工法による洗浄作業



出所：合同会社ヨネコウ 提供資料

合同会社ヨネコウは、経営理念を実現すべくスピーディーに丁寧かつ誠実な仕事を積み重ね、お客から選ばれる企業を目指している。その実現には、従業員の自社に対する満足度がお客様に対する質の高いサービスを提供する原動力であると考え、従業員の労働環境の整備やワークライフバランスを充実させるため徹底的に業務の無駄をなくす取組みを行っている。例えば、全従業員に業務用の車両を貸与し現場への直行直帰を基本とする体制を構築することで、無駄な移動を減らし効率的に業務へ集中できる環境を整備。また、全従業員へクレジットカードを配布することにより経費精算事務を削減し業務効率化を図っている。これからも従業員のエンゲージメントの向上を図り、お客さまから選ばれる会社でありつづけるために、持続可能な働き方と事業運営を追求していく。

■ 役職員での懇親の様子



出所：合同会社ヨネコウ 提供資料

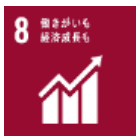
4. サステナビリティ目標

合同会社ヨネコウの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、合同会社ヨネコウの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、合同会社ヨネコウのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

合同会社ヨネコウ

Sustainability Commitment

2025年8月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

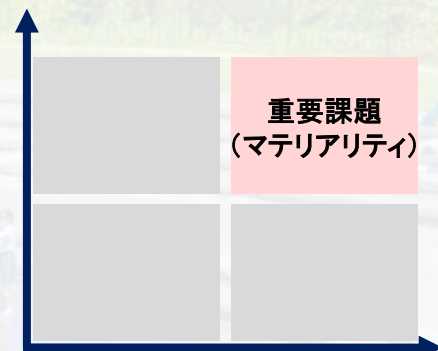


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長